

「治水の郷土偉人」図書贈る

小松電機産業
地元小学校へ



岩井教頭(左)に目録を手渡す小松会長兼社長

松江市

小松電機産業(松江市乃木福富町)と同社が管理する人間自然科学研究所は、江戸時代中期に洪水から村を守るために私財を投じて水路を開削した旧八雲村の周藤弥兵衛ら郷土の偉人に関する漫画や小説、児童文学など約50冊を同市浜乃木5丁目乃木小に贈った。

治水に関する機器を扱っている同社が、弥兵衛くさんの本をいただきあと清原太兵衛、大槻七兵衛の3人を「治水の偉人」と位置付け、同研究所は1994年から関連図書を順次発刊していた。同校の図書室には弥兵衛に関する図書が数冊しかなく、授業に活用するには不足していた。図書は既に絶版になっていたが同校が探していたところ、同社から寄贈の申し出があった。

同社であった寄贈式で、小松昭夫会長兼社長が岩井五月教頭に目録を手渡し、「本を読んで実際に現場に行き、水について感じてもらいたい」と期待。岩井教頭は「たとくさんの本をいただきあと清原太兵衛、大槻七兵衛の3人を「治水の偉人」と位置付け、同研究所は

(高塚直人)